

令和7年度 輪之内町立輪之内中学校 研究構想

《学校の教育目標》

ひとりだちのできる生徒

～自ら考え、よりよく判断して、主体的に行動できる生徒～

【目指す教職員の姿】

◎生徒にとって魅力ある教師

- ・教科等における人権教育を確かに実践する
- ・「できた」「わかった」といった生徒に充実感を感じさせる授業づくりの工夫
- ・ICTを活用した授業モデルの構築などについて連携しながら考え、互いに学び合える職員集団

【目指す学校像】

「今日も楽しかった。また明日も来たい」と思える学校

- ・自己を見つめる力と思いやり、感謝の心の育成
- ・基礎的、基本的な知識・技能、活用力、自ら学ぶ意欲の向上
- ・所属感、望ましい人間関係、自主的、実践的な態度の醸成

【願う生徒の姿】

◎自分で考え、自分が決めて自分から行動する

- ・だれとでも挨拶を交わし、思いやりのある言動をとる
- ・人の話を自分の考えをもちながら聞き、言葉等で伝える
- ・意見の違いやいじめ等の問題について仲間と話し合い、合意形成を図りながら解決に向けて行動できる

【研究主題】

主体的に考え、自分の意見を伝えられる生徒の育成
～ 仲間とともに学びを深められる学習過程の工夫 ～

【研究仮説】

学びを深めるための学習過程を明確にし、自分自身や（生成A Iを含めた）他者との対話的な学びを軸にした学習指導に取り組むことによって、生徒が周りの意見を聞き、自分の考えを広めながら、学びに向かう姿になれば、様々な課題解決に向けて、自ら主体的に考え、意見を伝えられる生徒を育成することが達成できる。

【研究内容3】

○本時に学習した内容が習得できたか確かめる評価の場の設定

- ・仲間との交流や生成A Iを活用し、自分の考えに対するフィードバックや評価を行う。
- ・計画した対話的な活動が本時のねらいを達成させるために効果的だったか見つめる

【研究内容2】

○周りの意見を聞き、生徒が自分の考えを広めながら、学びに向かうための学習活動の工夫

- ・仲間や学習支援ツール、生成A Iを活用して交流活動を生かす全体交流の工夫をする。
- ・「〇〇さんはなぜそのように考えたのだろう？」などと問いかけ、生徒の考えを周りに広める

【研究内容1】

○生徒の主体性を引き出すことができる導入の工夫

- ・生徒の考えやつぶやきを反映させた必然性のある課題設定を行う
- ・課題解決の見通しがもてる導入の工夫を行う